1 議事日程（初日）

〔令和2年太宰府市議会第1回（3月）定例会〕

令和2年2月26日

午前10時開議

於議事室

日程第1	会議録署名議員の指名
日程第2	会期の決定
日程第3	諸般の報告
日程第4	施政方針
日程第5	諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
日程第6	諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
日程第7	議案第1号 太宰府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
日程第8	議案第2号 筑紫公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
日程第9	議案第3号 太宰府市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
日程第10	議案第4号 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度太宰府市一般会計補正予算（専決第2号））
日程第11	議案第5号 財産の取得（史跡地）について
日程第12	議案第6号 太宰府市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について
日程第13	議案第7号 太宰府市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例について
日程第14	議案第8号 臨時的に任用された職員の分限に関する条例の一部を改正する条例について
日程第15	議案第9号 太宰府市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例について
日程第16	議案第10号 太宰府市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について
日程第17	議案第11号 太宰府市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
日程第18	議案第12号 太宰府市立図書館条例の一部を改正する条例について
日程第19	議案第13号 太宰府市印鑑条例の一部を改正する条例について
日程第20	議案第14号 太宰府市税条例等の一部を改正する条例について
日程第21	議案第15号 太宰府市公園条例の一部を改正する条例について
日程第22	議案第16号 令和元年度太宰府市一般会計補正予算（第7号）について
日程第23	議案第17号 令和元年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について
日程第24	議案第18号 令和2年度太宰府市一般会計予算について
日程第25	議案第19号 令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

- 日程第26 議案第20号 令和2年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
 日程第27 議案第21号 令和2年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
 日程第28 議案第22号 令和2年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
 日程第29 議案第23号 令和2年度太宰府市水道事業会計予算について
 日程第30 議案第24号 令和2年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席議員は次のとおりである（18名）

1番	柳原 莊一郎	議員	2番	宮原 伸一	議員
3番	船越 隆之	議員	4番	徳永 洋介	議員
5番	笠利 毅	議員	6番	堺 剛	議員
7番	入江 寿	議員	8番	木村 彰人	議員
9番	小畠 真由美	議員	10番	上 疆	議員
11番	原田 久美子	議員	12番	神武 綾	議員
13番	長谷川 公成	議員	14番	藤井 雅之	議員
15番	門田 直樹	議員	16番	橋本 健	議員
17番	村山 弘行	議員	18番	陶山 良尚	議員

3 欠席議員は次のとおりである

なし

4 会議録署名議員

3番	船越 隆之	議員	4番	徳永 洋介	議員
----	-------	----	----	-------	----

5 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名（20名）

市長	楠田 大蔵	副市長	清水 圭輔
教育長	樋田 京子	総務部長	石田 宏二
総務部理事	山浦 剛志	総務部理事	五味 俊太郎
市民生活部長	濱本 泰裕	都市整備部長	井浦 真須己
観光経済部長	藤田 彰	健康福祉部長	友田 浩
教育部長	江口 尋信	総務課長併 選挙管理委員会書記長	川谷 豊
経営企画課長	高原 清	人権政策課長兼 人権センター所長	行武 佐江
福祉課長	田中 縁	社会教育課長	木村 幸代志
都市計画課長	竹崎 雄一郎	上下水道課長	佐藤 政吾
観光推進課長兼 地域活性化複合施設太宰府館長	友添 浩一	監査委員事務局長	福嶋 浩

6 職務のため議事室に出席した事務局職員の職氏名（4名）

議会事務局長	阿部 宏亮	議事課長	吉開 恭一
書記	斉藤 正弘	書記	高原 真理子

開会 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（陶山良尚議員） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員数は18名です。

定足数に達しておりますので、令和2年太宰府市議会第1回定例会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

議事日程はお手元に配付しているとおりです。

議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（陶山良尚議員） 日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。

今回の会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、

3番、舩越隆之議員

4番、徳永洋介議員

を指名します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 会期の決定

○議長（陶山良尚議員） 日程第2、「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から3月19日までの23日間にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定いたしました。

なお、会期内日程については、お手元に配付しております会期内日程表によって運営を進めたいと思います。また、本会議、委員会とも改めて通知を差し上げませんので、よろしくご協力をお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 諸般の報告

○議長（陶山良尚議員） 日程第3、「諸般の報告」を行います。

お手元に報告事項の一覧表を配付しております。監査関係、議長会関係及び行政視察関係の資料につきましては、事務局に保管しておりますので、必要な方はごらんいただきたいと思っております。

これで諸般の報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 施政方針

○議長（陶山良尚議員） 日程第4、「施政方針」に入ります。

市長の施政方針を受けることにいたします。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 本日ここに、令和2年第1回定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては大変ご多用の中をご参集賜り、厚く御礼を申し上げます。

この定例会は、令和2年度の市政の根幹となります予算案を初め主要施策並びに条例案をご審議いただく重要な議会と捉えております。

議案提案に先立ちまして、今後の市政運営に臨む私の所信を披瀝し、議員各位や市民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

まず、冒頭申し上げます。新型コロナウイルス対策につきましては、近隣自治体に先駆けて、1月末の時点でいち早く対策本部を立ち上げ、適時適切に会議を重ね、情報収集や注意喚起などに努めてまいりました。

苦渋の決断でありましたが、先週福岡県でも初めて感染者が確認されたことから、即座に中西進先生をお招きするイベントを始め諸行事を中止もしくは延期とし、職員を挙げてその対応にも努めてまいりました。引き続きこうした対応を重ねながら、可能な限り本市における感染者発生を食い止めるとともに、仮に判明したとしても速やかに対応し、重症化や拡大を防ぐことができるようシミュレーションを重ねてまいります。

また、国際観光都市でもあります本市では、観光客の減少などによる悪影響も少なからず及びつつあります。風評などによる混乱を避けるとともに、国、県と緊密な連携を図りながら経済対策などにも努めてまいります。

議員各位、市民の皆様のご理解ご協力のほど、よろしく申し上げます。

さて、私が市長に就任して2年が経過しました。おかげさまで就任1年目の平成30年度決算から、市政の安定化や子育て支援、起業支援などの成果もあり、市税が約6,700万円、ふるさと納税も3,000万円余りの増加を記録しました。

また、国や県からの補助金活用に努める一方、新たな借入金を極力抑えるとともに、既存の借入れ約7億5,000万円の前倒し返済を断行することなどで、経常収支比率は91.3%と前年度に比べ0.8ポイントの改善を早速実現しました。

就任2年目となります昨年を改めて思い返しますと、御代がわりを迎える節目の1年を「新生太宰府元年！」と位置づけ、かつての混乱を乗り越え、新たな飛躍につなげる意欲的な市政運営に努めると宣言いたしました。

そうしたところ、新年早々より西鉄太宰府駅のリニューアル、タモリ×鶴瓶のNHK新春特番放映、筑陽学園高校野球部の甲子園出場など慶事が続き、4月には新元号「令和」との大変光栄なご縁をいただきました。

その間、市といたしましても、民間プール等を活用した小学校水泳授業、甲子園応援クラウ

ドファンディング、市内大学との連携による不登校児童・生徒への支援など意欲的な試みを矢継ぎ早に続けてまいりました。

1,300年の時空を超えて太宰府の歴史に思いをいたす「時の旅人プロジェクト」を企画し、市民参加による人文字、クリアファイル販売、記念モニュメントクラウドファンディングを実施し、慶びを分かち合いました。

そうした成果も認められ、6月には市を代表して首相官邸を訪問し、安倍晋三総理、菅義偉官房長官にも直接に「令和」による本市の経済効果や課題につきまして報告をし、地方の時代の牽引役としての期待をかけていただきました。

7月には、国とのさらなる緊密な連携をもくろんで、本市初めての中央省庁との人事交流を実現し、環境省からキャリア官僚であります五味氏を総務部理事として迎え、本市若手職員を先方職員として送り出しました。

同じころ、総合戦略推進委員会、通称「まちづくりビジョン会議」を開始し、各界の精鋭の方々にご参加いただいております。本市の積年の課題であります歳出入一体改革を核とした総合戦略策定を進めていただいております。

10月初めには待望の宿泊及び飲食施設「HOTEL CULTIA DAZAIFU」が開業いたし、本市の長年の課題であります観光の回遊性向上による税収増加や経済効果上昇が着実に前進しております。

11月には西日本鉄道の都府楼前駅の副駅名が「令和の里」となり、全国的な話題となりました。そうした効果もあり、大宰府政庁跡一帯には現在もおかげさまで多くの皆様にお越しいただいております。

6月に有料駐車場として供用を開始いたしました「大宰府政庁前駐車場」につきましては、既に2,500台を突破いたしました。これは、当初想定を大きく上回り、収入の採算ラインも大きく超えるものとなっております。

また、7月より再有料化に踏み切りました大宰府展示館にも毎月、一昨年を大きく上回る入場者数が訪れ、坂本八幡宮参拝者も含め、大宰府政庁跡一帯でも念願の観光回遊性の向上による大きな経済効果が生み出されております。

また、災害対策にも全力を挙げてまいりました。グッデイや日本郵便、ヤマト運輸などの民間企業と災害協定を結ぶとともに、佐賀県武雄市とも災害時相互応援協定を締結するなど、本市の災害対応力のさらなる強化に努めてまいりました。

力を入れてまいりましたふるさと納税も、新たな太宰府らしさを発信する「THE DAZAIFU」プロジェクトに続き「THE REIWA」プロジェクトもスタートさせ、大商談会や新作発表会などを行ってまいりました。

その成果もあり、話題性のあるクラウドファンディングとともに返礼品のラインナップも充実し、着実に寄附額が増えております。最終的には、昨年度の4倍近く、約2億円増となる2億7,000万円余りを達成できるのではと見込んでおります。

そうした結果として、昨年発表されました2019全国市町村魅力度調査におきまして、1,700を超える自治体の中で、本市が過去最高の41位を記録いたしました。今後も息長い発展につなげるべく努力を重ねてまいります。

さて、新元号にご縁をいただいたことにより、太宰府の地がいにしえより我が国の政治、外交、防衛の要衝であり、国際文化都市であったという誇り得る歴史に注目が集まっております。まさしく「令和発祥の都」として、本年はさらに羽ばたかなければなりません。

残念ながら中止となりましたが、令和最初の初春令月に合わせ、新元号考案者とされる念願の中西進先生をお招きして「令和と太宰府の関係をひもとく講演会」や子ども・学生未来会議、「令和発祥の都太宰府梅花の宴」を企画し、さらなる機運の高まりに努めてまいりました。

5月には東京オリンピック・パラリンピックに向けての聖火リレーを本市でも開催し、市民とともに記念すべきイベントを慶び合います。1,300年の歴史を誇る大宰府政庁跡に現代の夢の聖火が入るのを、今から楽しみにいたしております。

また、10月には全国史跡整備市町村協議会の総会を本市で開催します。福岡県では半世紀ぶりの開催、史跡指定100年を迎える節目の年度にも当たりますので、今後100年の史跡地の維持保存や活用を創造するような大会にしてまいります。

一方で、来年度は第五次総合計画の最終年度に当たり、目標達成に向け最後まで取り組んでいくとともに、現計画の総括に着手し、それに続く今後の本市のあり方の構想を練る年ともなります。

そうした意味から、令和2年度を「総括と構想」の年に位置づけ、これまでの取り組みの成果や課題などを見きわめた上で、「令和発祥の都」として太宰府市をさらに羽ばたかせる新たなビジョンを構想してまいります。

さて、先ほど来述べてまいりましたように、このたび提案いたします令和2年度当初予算案は、令和の慶びや効果を市民の皆様に還元し、令和発祥の都としてさらに羽ばたくための予算、いわば「令和還元予算」と位置づけております。

「新生太宰府元年」にふさわしい取り組みの成果や令和効果もあり、歳入については、市税では1億円を超える、ふるさと納税では約2億円の増収を見込んでおり、当初予算といたしましては過去最高の250億円を超える規模といたしました。

編成においては、市を取り巻くさまざまな課題に対し全庁一丸となって対応すべく、昨年度に引き続き三役・部長・課長合同会議並びに係長・一般職員も対象にした自主研究の場でみずから経営方針・予算編成方針を語りかけ、その共有を図りました。

また、昨年に増して最少の経費で最大の効果が出せるよう、各部単位でボトムアップ事業として新規・改善事業を3つ以上提案する仕組みを設定し、スクラップ・アンド・ビルドを心がけるなどさらなる改善を図ってきたところであります。

なお、本年度予算では小学校プール建て替え・改修費用の節減や高校野球・サッカー全国大

会の奨励費、令和記念モニュメント制作、中西先生イベント運営費などのクラウドファンディングによる代替などで億単位の歳出削減効果を実現いたしました。

来年度も同じく小学校プールの建て替え・改修費用の節減、会計年度任用職員制度変更に伴う人件費増の抑制、各種イベントの見直し、補助金などの精査、成人式記念冊子の官民協働発行などで億単位の歳出削減効果を見込んでおります。

それでは、そうした過程を経て打ち出しました令和2年度における事業及び予算案の重点項目につきまして、順次概要をご説明申し上げます。

まずは、市民の声が届く、市民に声が伝わる市政を実現することで、太宰府の市民力を引き出し、活力ある地域を創生することを目的とする第1のプラン「市民参画の行政、街づくりで地域創生」について述べます。

市長と語る会、ホームページやフェイスブック、広報「だざいふ」などによる情報発信、朝のあいさつ運動、年度末繁忙期における土曜開庁の拡大などを引き続き実行に移すとともに、秘書広報機能のさらなる充実強化を図ってまいります。

また、第2期総合戦略策定にご尽力いただいております「まちづくりビジョン会議」につきましては、総合戦略策定後も引き続き産官学などによる具体的な事業提案などを受け、ダイナミックな事業展開が図れるよう意見交換を行ってまいります。

学問の神様にゆかりのある本市が、そのイメージにふさわしい教育、子育てを実現することで、若年層の自然増、社会増、子どもたちの飛躍を実現する第2のプラン「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について述べます。

まずは、「子ども・学生未来会議」であります。残念ながら中止となりましたが、本年度は令和のまちづくりをテーマに、市内小・中学校の代表児童・生徒と中西進先生との対話を企画し、準備を重ねてまいりました。来年度も、さらなる内容の充実を図ってまいります。

次に、「基本教育の充実と先進教育への挑戦」についてであります。

「学力の更なる向上」ですが、ICT環境を計画的・段階的に整備しつつ、高い専門性を持ったICT支援員を各学校へ派遣し、教職員の研修や授業のサポートを行うことにより、児童・生徒の情報活用能力の育成とさらなる学力向上を図ってまいります。

次に、「学校施設の整備」ですが、児童・生徒の教育の場にふさわしい安心・安全な学習環境を提供すると同時に、財政面についても負担の軽減及び平準化を図っていくよう、引き続き努力を重ねてまいります。

次に、「民間プール等を活用した水泳授業事業」であります。本年度から水城小学校、水城西小学校において、地域資源であります民間プール等を活用した水泳授業をスタートいたしました。

結果として、施設のインストラクターが専門的指導を行うことで子どもたちの水泳技術も向上し、指導者が増えることによりこれまで以上に目が行き届き、安全面においても向上が図られております。

あわせて、日常的なプール管理の必要がなくなることで教職員の負担軽減が図られるとともに、建て替えや補修、使用水や薬品などの消耗品並びにろ過器などの施設の維持管理が不要になることで、大幅な経費の節減効果も図られております。

大変好評を博すとともに、福岡市を初め全国的に追随する動きもあり、令和2年度は、本年度の実施校に加え、太宰府小学校の水泳授業についても民間プールなどを活用した水泳授業を実施してまいります。

「STEAM教育の実践」についてであります。引き続き市内民間企業との産官連携により、夏休みなどの長期休暇に小学生を対象にプログラミングや物づくり、科学実験といった学びの場を提供してまいります。

新規事業「放課後子ども教室」についてであります。「小1の壁」と言われる働く保護者の放課後問題の解消や、子どもたちの安心・安全な居場所を提供することを目的として、太宰府西小学校をモデル校として新たにスタートするものであります。

学年を超えた友達や大人たちとの交流を通じ、地域の中で心豊かなたくましい子どもたちを育成するとともに、学童保育との一体型とすることで学童保育所設置事業補助金の増額対象となることから、当該事業の経費削減も図ってまいります。

「大学・短大との連携」については、既に年間四十数事業を実施しているところであります。さらなる充実を図るために、情報を共有しながら共同で実施できる新たな連携事業を検討してまいります。

また、本年度から開始し、全国的に注目を集めました不登校児童・生徒の居場所づくりを行うキャンパス・スマイル事業につきましては、好評につき、大学と連携しながらさらにきめ細かに進めてまいります。

「中学校給食」についてであります。ランチサービスの充実による喫食率の向上を図りつつ、中学校における給食のあり方についてさらなる検討を重ね、任期中までに一定の方向性を出せるよう引き続き努力してまいります。

次に、「出産・子育てのサポート」について申し上げます。

保育所の「待機児童解消」についてであります。新年度からの新たな小規模保育施設開設や既存施設の増改築により引き続き定員増を図るとともに、保育士確保のための新たな2事業をスタートさせます。

1つ目は「保育所等新規採用保育士家賃助成事業」です。私立保育所及び小規模保育施設に勤務している新規採用から3年目までの保育士で、市内の賃貸住宅に本人名義で契約し居住している者に対して、家賃の一部を助成します。

2つ目は「保育補助者雇上強化事業」です。保育士業務を軽減するために、私立保育所及び小規模保育施設で、短時間勤務の保育資格を持たない保育補助者を雇い上げた費用に対し補助を行います。

保育士の処遇改善や業務負担の軽減を行うことにより離職防止を図るとともに、保育補助者

の将来的な資格取得を促すことで、安定した保育士確保につなげ、弾力的な児童の受け入れ数を確保してまいります。

「子育て世代包括支援センター」についてであります。妊娠期から子育て期にわたるまでのさまざまなニーズに対し切れ目なくサポートし、総合的相談支援を提供するため、令和2年度中の開設に向けて、組織体制と施設改修などの準備を進めてまいります。

組織横断的に徹底した行政改革による歳出削減、太宰府の底力を活かした成長戦略による自主財源の増加を同時になし遂げ、本市の活力を増大させていくことを目的とする第3のプラン「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について述べます。

まず、「職員の人材育成」であります。国との相互人事交流に続き、県や民間企業との相互人事交流も進め、個々の職員の経験や能力の向上はもちろん、組織自体の活性化にもつなげてまいります。

また、「職員の人材確保」についてであります。人物を重視した採用とするとともに、受験者ニーズを的確につかみ、申込者のさらなる増大を図るため、職員有志による「職員採用プロジェクト・チーム」を新たに設置いたします。

職員採用説明会の開催及び就職イベントへの出展、就職情報サイトを活用した採用情報の発信とエントリー受け付けなどを実施し、志望者の取り込みを広く積極的、効率的に行います。

さらに採用試験においては、世代や性別、学科試験等にとらわれず、多様な視点による選考を実施し、本市の将来を担う優秀な人材をより広く求め、効果的に人材を確保してまいります。

特に就職氷河期世代の採用については、私自身同世代であり、当時30もの民間企業や公務員試験にことごとく失敗し、失意のうちに唯一内定をもらった企業に就職するも、ミスマッチのためほどなく退職したみずからの経験に基づく強い思いがあります。

この世代の対策は既に社会問題化しており、本市の職員構成もこの世代の人数が少なく、若手職員を引っ張るリーダー的役割の職員の不足が課題となっており、5人程度の人員の7月の即戦力採用に向け準備を進めます。

「市政運営経費の見直し」については、歳入増加策としてふるさと納税に注力し、返礼品提供事業者の拡大に努めることで、寄附額の増加並びに本来の目的である市内産業の活性化を図ってきたところであります。

今後につきましても、市内産業の活性化及び市外事業者の市内における拠点設置を図るため、「THE DAZAIFU」プロジェクトや「THE REIWA」に基づく令和発祥の都太宰府らしい新たなふるさと納税返礼品をさらに充実させてまいります。

また、「モノ消費」だけでなく「コト消費」のメニューも充実させることで、さらなる寄附額の増加を目指すとともに、クラウドファンディングを初め、ふるさと納税の用途のプロジェクト化や企業版ふるさと納税の活用による財源確保も図ってまいります。

次に、「計画的な公共施設整備」についてであります。市内公共施設が一斉に更新時期を

迎え、多額の改修・更新費用が見込まれる中、公共施設整備基金の継続的な積み立てを行いつつ、再編のあり方についてさらに検討を重ねてまいります。

特に「いきいき情報センター」の利活用につきましては、民間事業者などのアイデアや意見を幅広く把握するため、速やかに「サウンディング型市場調査」を実施し、公募条件の整理を行うとともに、すぐれた事業提案を促してまいります。

次に、「電気料金の見直し」につきましては、市内16施設の公共施設電気料金について一般競争入札を行い経費削減を図っておりますが、新たに男女共同参画推進センタールミナスについても対象とし、さらなる改善、見直しを図ってまいります。

次に、「介護予防・生きがい活動支援事業」については、地域の実情に応じて運営されるボランティアなどを主体とする任意団体が実施する介護予防・生活支援などの活動が持続的に可能となるよう、予算の範囲内で財政支援を行い、高齢者福祉の推進と向上を図っているところであります。

現行の補助制度では、全て市単費による補助を行っておりましたが、令和2年度からは対象となる団体などについては、介護保険特別会計の地域支援事業へ移行させることにより、事業費の負担を軽減するよう改善を図ってまいります。

次に、「成人式記念冊子官民協働発行」につきましては、本年度から成人式の趣旨に協賛いただける企業・団体等から協賛金を募り、協賛の特典として、成人式記念冊子内に協賛広告を掲載しているところであります。

この取り組みは、全国的にもほとんど前例がなく、事業費の縮減とともに、協賛広告に求人の有無を掲載することにより、新成人の就労の促進、定住化・U J I ターンを促し、関係人口の増加にもつながるものと期待しております。

「中長期滞在型次世代観光など地場産業」については、民間資金を活用して地域経済、地域社会の活性化を図るべく、昨年3月に策定しました「観光推進基本計画」に、令和発祥の都としてのエッセンスを加えた形でのリニューアルを図ります。

民間投資の誘導を行い、地域経済、地域社会の活性化を図るべく、古民家を活用した宿泊施設のさらなる展開、ホテルの誘致など宿泊施設の充実や、コンベンションビジネスの活用を検討し、宿泊者の増加を図ります。

あわせて、早朝や夜の太宰府を楽しめる飲食や、歴史、文化、自然を感じられる体験プログラムの開発などを検討するため、観光協会、商工会初め関係団体などと積極的に連携してまいります。

「地場みやげ産業の振興」については、地域の特性を生かした特産品などの開発や既存商品の磨き上げなどを行うべく、さまざまな知識、能力、ネットワークを持つ産業推進協議会メンバーの調査・審議を進めます。

また、市有地等に既に植生している市の花であります梅の果実を広く収穫、さらには新たに植栽すると同時に、梅の産地としての可能性を研究することで、新たな産業の創出につなげ、

雇用の創出や新たな収入源実現を図ってまいります。

「産業の創生」につきましては、地域経済の担い手として市内事業者の大部分を占める地場産業の活性化はまちづくりの重要な課題であり、商工会等と連携し、中小企業、小規模企業者に対してさらなる支援を行います。

創業者の経営安定と市内事業者のさらなる増加を図るため、市内創業者、創業予定者に対し、その事業資金の一部を「創業者支援補助金」として補助する制度を本年度から創設いたしました。来年度は、市内創業の機運をさらに高めるため、補助金の増額を図ってまいります。

また、さらなる経営の向上を図ることを目的として経営革新計画を策定し、新たな事業活動に取り組む事業者に対して、その要する費用の一部を助成する「がんばる中小企業応援事業補助」制度を新たに創設いたします。

このように、創業支援、新たな商品・サービスの開発に取り組む中小企業者等地場産業者の育成支援を行うことにより、雇用創出、付加価値の創生及び市内消費額増加へつなげ、税収増を図ってまいります。

また、中小企業者の自主的経済活動の促進及び経営の安定を図ることを目的に、指定銀行に預託を行い、市内に居住または主たる事業所を有する中小企業者に対して事業資金を低利率で融資する「中小企業事業資金融資制度」を設けております。

来年度は、さらなる融資の円滑化と貸付額の増加に向け、預託額を倍増いたします。これにより、円滑な融資を行い、事業者の経営安定及び事業拡大や経営革新を促進することで、地域経済の活性化と税収増へつなげてまいります。

その他、「計画的なまちづくりの推進」については、太宰府ならではのまちづくりを推進するために、エリアごとの人口の動態や発展の動向、当該区域の地形、自然条件並びに交通条件などを考慮した戦略的まちづくりを目指してまいります。

土地・空間の利活用を検討し、当該エリアの活性化を図るためにも、基礎資料の収集や分析を行い、用途地域や高度地区などの変更の判断材料とすることで、今後、県との協議、地域への説明などに活用してまいります。

次に、時空を超えて太宰府の地を捉え直し、令和発祥の都にふさわしい大きな視点で国際交流や地域間連携を考える第4のプラン「積極的広域連携による大太宰府構想」について述べます。

「バス路線の利便性・収益性向上」ではありますが、まほろば号8路線と地域サポートカー3路線の運営を行うとともに、持続可能で安全、便利なコミュニティバスの適正運行のための課題解決に向けて、引き続き取り組んでまいります。

確実な乗り継ぎ、乗務員の休憩時間の確保、経費削減並びに地域からの要望に応える形での利便性向上などを総合的に勘案したダイヤ改正を実施するとともに、市域を超えた連携についても引き続き可能性を追求します。

「観光連携による回遊性向上」については、海外で行われる福岡県観光連盟が出展している

観光PRへの参加や、西鉄沿線観光活性化協議会による参加自治体の共同PRなどを行い、国内外からの関係人口、交流人口の増加に努めます。

また、新たに誕生した大伴旅人をあしらったキャラクターやロゴマーク等を活用し、令和発祥の都太宰府の魅力発信を積極的に行い、本市内外の回遊性を高め、観光客のさらなる誘客と宿泊や飲食、買い物などを通じた消費単価の向上を目指します。

「大宰府政庁復元プロジェクト」についてであります。全国611の市区町村が加盟する全国史跡整備市町村協議会の第55回大会を、10月に本市で開催することとなりました。福岡県では半世紀ぶりとなる念願の大会誘致です。

全国からの参加者を本市に迎えることで高い経済効果が見込まれるとともに、大太宰府的な観点から本市の取り組みや提言を全国に発信することで、本市を牽引役とするさらなる史跡の魅力化や活用につなげてまいります。

また、大宰府跡及び水城跡が史跡として国内初の指定を受けてから来年度に節目の100年を迎えることから、記念事業を実施するとともに、次なる100年の本市の史跡の維持保存、活用についても、大太宰府的な観点から議論してまいります。

なお、大宰府跡は客館地区が平成26年度に追加指定され、本年度に1期整備が完成いたします。これを記念し、講演会・シンポジウムを開催し、これまでの客館跡の調査研究やその歴史的な意義も広くお知らせしてまいります。

次に、「国際交流活動の推進」及び「姉妹・友好都市交流の推進」につきましては、太宰府市国際交流協会と連携しながら市民主体の国際交流を推進するとともに、本市で暮らす留学生や外国人の方々が安心して暮らせるための支援も進めてまいります。

また、市内小・中学校における国際理解講座や姉妹都市韓国扶餘郡との交流事業、友好都市である奈良市・多賀城市・中津市との友好交流を引き続き推進するとともに、さらなる大太宰府的な観点から国内外諸団体との連携を図ります。

渋滞問題解消に向け、発想を転換し、環境に負荷をかけず、比較的短期間で渋滞解消を実現することを目指す第5のプラン「環境重視の逆転の発想で渋滞解消」について述べます。

「渋滞解消」についてであります。本年度までの総合交通計画や地域公共交通網形成計画に関する協議会において分析された情報や提案された諸施策も参考に、検討を進めてまいります。

その際、ロードプライシングも視野に入れた交通誘導施策、パーク・アンド・ライドやシェアサイクルの活用など本市にとって最善の方策について検討し、関係機関との協議を行ってまいります。

また、坂本地区を中心に大規模住宅開発事業が続いており、今後人口や交通量の増加により生活や道路環境の悪化が想定されることから、今後の対応について検討を始めます。

「市道の整備・管理」については、通行車両による騒音や振動が軽減され、また舗装版の不陸がなくなり歩行者が通行しやすくなるよう、本年度策定する舗装個別施設計画に基づき、劣

化している舗装の表層の改修事業を行ってまいります。

また、国土交通省の社会資本整備総合交付金事業を活用し、道路橋梁などの「既存施設の長寿命化の推進」「通学路における安全対策の推進」「道路交通の円滑化、安全性・快適性の向上を図る整備」などを行うことで、道路を通行する市民の安全確保を行ってまいります。

高齢者福祉のさらなる充実を図る上で、公的支援に過度に依存しない民間主導の方式活用も検討を進める第6のプラン「民間の知恵を生かした高齢者福祉」について述べます。

「地域包括支援センターの相談体制の充実」についてであります。本年度内に市民要望の強かった念願の市域の西側を担当圏域とする地域包括支援センターの支所を設置し、4月から専門職の配置を行い、運営をスタートいたします。

その際、地域ケア会議や協議体などの活動を通して多様な主体との連携を図ることで、利用者の利便性に配慮するとともに、地域住民などに対し、高齢者の視点に立ったよりきめ細やかな対応を行ってまいります。

同時に、市域の東側が担当圏域となる既存の地域包括支援センターには、本所として統括機能を持たせ、支所との役割分担及び連携の強化を通じて効果的かつ効率的な運営体制を構築してまいります。また、イベントなどに合わせて相談ブースの開設を行うなど、アウトリーチ型の相談体制を引き続き進めてまいります。

「就職氷河期世代対策」についてであります。本市職員採用に加え、この世代が抱える固有の課題や今後の人材ニーズを踏まえつつ、個々人の状況に応じて意欲を持って生活できるようきめ細やかな対応を進めます。

具体的には、就労に向けてのキャリアアップ・キャリアチェンジに向けた支援や安定した雇用の確保などの支援、また、社会参加に向けた支援につなげるため、断らない相談支援など、複合課題に対応できる包括支援や居場所づくりに努めてまいります。

さらには、就労準備支援員により、個々人の状況に合った一般就労に向けての支援を実施し、あわせて個別相談や交流会、就労体験などを通して、職業的自立など、将来に向けた取り組みを支援する若者サポートステーションの活用を図ってまいります。

市民の安心・安全の確保こそ行政の最大の使命との思いのもと、災害対策や防災に万全を期すことを目的とする第7のプラン「自衛隊と連携した市民の安心安全」に基づき、あらゆる事態への備えと対応に取り組んでまいります。

「災害対策・対応」についてであります。毎年のように発生する自然災害を受け、市の防災力を高めることを目的に、5月に市内一斉避難訓練を市内全域において行うことにいたしました。

勢力が強い台風が太宰府市を通過する想定で、早期の避難を呼びかけるとともに、実際に自治会ごとに指定された避難所へ避難していただき、市民の避難行動の促進を図り、避難時の課題を洗い出し、災害対応のさらなる改善を行ってまいります。

「高齢者運転免許証自主返納支援事業」についてであります。現在、高齢者の運転免許保

有者数が年々増加し、加齢による身体や認知機能の低下により、高齢運転者が起こす痛ましい事故が社会問題化しております。

このような状況の中、県の市町村運転免許証自主返納支援事業補助金を活用して、免許証自主返納者へ交通系ＩＣカードを交付し、高齢者の運転免許証の返納を促し、事故減少を目指してまいります。

「安全な消費生活の推進」については、太宰府市消費生活センターや消費者安全確保地域連絡会議などを通じ、消費者トラブルに関する相談、情報共有、連携を図り、消費生活上のトラブルの解決、未然防止につなげてまいります。

次に、「生涯学習の推進」についてであります。本年５月に「東京オリンピック聖火リレー」を太宰府天満宮参道から大宰府政庁までのコースで本市でも開催し、市民とともに記念すべきイベントを慶び合います。

あわせて、オリンピック・パラリンピックにかかわりや関心を持っていただくことで、スポーツへの興味や体を動かすきっかけにつなげていただき、本市のスポーツ実施率の向上や健康寿命の延伸にもつなげてまいります。

次に「ごみの減量」につきましては、「～もう一步進もう～ごみ減量72,000人プロジェクト」として、各家庭や事業所の皆様のご協力を得ながら、令和２年度も引き続きさまざまな施策を実施してまいります。

具体的には、暮らしの中で使える「水切り、食べ切り、使い切り」の生ごみ減量アイデア等を提供するため、広報、ホームページ、出前講座、段ボールコンポスト講座により啓発を行います。

また、生ごみ処理機購入補助金の利用促進を図ってまいります。さらには、市内事業所の皆様に対しましては、可燃ごみの排出抑制の啓発を行い、ごみの発生の抑制を図ってまいります。

次に、「生活環境の向上」についてであります。飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助事業を筑紫臨床獣医師会とも協議を行い、令和２年度中に新たに実施する予定にしております。

飼い主のいない猫の繁殖に伴うふん尿、ごみを荒らすなどの近隣被害・迷惑を低減させ、市民の動物愛護及び共生意識の高揚と、快適な生活環境の保持に努めてまいります。

次に、「環境教育・学習の推進」についてであります。豊かな自然や多様な生態系に恵まれた本市の環境を活かして、「小学校における移動自然博物館事業」を新たに実施いたします。

専門家による授業やフィールドワーク等を通じて、子どもたちから生物多様性に関する理解を促進し、環境保全に重きを置く人材育成に努めてまいります。そうした性格から、環境フェスタの後継事業にも位置づけております。

次に、「人権政策」についてであります。人権政策は全ての施策を推進するに当たり基礎となるものであり、本市では平成28年制定のいわゆる「人権３法」に基づき、平成31年４月に

「人権尊重のまちづくり推進基本指針」を改訂いたしました。

この指針を基本としながら、家庭、職場、学校、地域等あらゆる分野を通じて人権尊重の理念を普及し、理解を深めていただくよう、教育及び啓発を学校教育、社会教育とも連携を図りながらさらに推進してまいります。

次に、「男女共同参画の推進」についてであります。本市におきましては、男女共同参画の取り組みを効果的に推進するため、「第2次太宰府市男女共同参画後期プラン」を策定いたしました。

これをもとにして、固定的な性別役割分担意識の解消、ワーク・ライフ・バランスの推進、配偶者などからの暴力の根絶、女性の活躍推進などに取り組み、社会のあらゆる分野において男女がともに参画できるまちづくりを進めてまいります。

次に、「情報共有化と活用」についてであります。国の施策や動向、市民を取り巻く環境の変化などを踏まえた上で、電算システムの安定稼働及び情報機器の更新により、電子情報による行政サービスの向上を図ります。

情報セキュリティ分野では、セキュリティ事故を未然に防ぐために、人的・技術的・物理的セキュリティ対策を組織的に講じ、さらなる安心・安全なICT環境の実現に向けて取り組んでまいります。

以上、「令和還元予算」と銘打ちました令和2年度の重点事業と予算案を、かねてよりの7つのプランと第五次太宰府市総合計画後期基本計画に沿って詳細にご説明してまいりました。

本年度は「新生太宰府元年」としての意欲的取り組みや新元号令和とのご縁もあり、本市に大きな注目をいただきました。来年度はそうした成果を市民の皆様に還元すべく、当初予算額として初めて250億円を超える過去最高規模といたしました。

しかし、市民の多様なニーズに十分かつ機動的に応え、本市のさらなる発展や課題解決に向け積極的に投資を続けていくために必要な歳出要求と本市の歳入能力には、今なお慢性的な開きがあります。

そうした現状を打破すべく、昨年の施政方針でお約束いたしましたごいふ版歳出入一体改革案とも言えます第2期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略、通称まちづくりビジョンを間もなく提示いたします。

この中では、本市の特徴を「歴史と文化とみどりのまち」「学問のまち」「福岡都市圏のベッドタウン」「交通の要衝」という4つの側面から分析し、それに伴う強み、弱みを検証しております。

その上で、課題解決の方向性を「太宰府の底力総発揮構想」「太宰府型全世代居場所と出番構想」「令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想」「1,300年の歴史に思いをいたす持続可能な太宰府構想」の4つの構想にまとめました。

換言すれば、観光産業や民間活力活用を始めとした成長戦略、全世代の生活支援による移住・定住戦略、超広域連携による権益拡大戦略、持続可能性を追求した行財政改革戦略という

4つの戦略であります。

これらを有機的、複合的、総合的に組み合わせ、優先順位をつけ着実に実践することで本市の歳出入一体改革をなし遂げ、来年度からの令和発祥の都太宰府にふさわしいさらなる飛躍を図りたいと考えております。

しかし、いかなるビジョンを持ったとしても、やはり基本になりますのは、今年の仕事始めの際に職員に呼びかけました「市と市民の皆様の為」「世の為人の為」との政治家、公務員としての原点であります。

そうした思いを胸に、令和2年度も市と市民の皆様のために、私が持ち得る力の全てを出し尽くす覚悟であります。結びに改めまして、議員各位、市民の皆様の変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げます。私の施政方針といたします。ご清聴ありがとうございました。

○議長（陶山良尚議員） 施政方針は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5から日程第9まで一括上程

○議長（陶山良尚議員） お諮りします。

日程第5、諮問第1号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」から日程第9、議案第3号「太宰府市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」までを一括議題にしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 先ほど述べさせていただきました施政方針に続きまして、市議会第1回定例会初日にご提案いたします案件につきましてご説明申し上げます。

本日ご提案申し上げます案件は、人事案件5件、専決処分承認1件、財産取得1件、条例改正10件、補正予算2件、新年度予算7件、合わせて26件の議案のご審議をお願い申し上げます。

それでは、提案理由の説明を申し上げます。諮問第1号から議案第3号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、諮問第1号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」ご説明申し上げます。

現委員でございます山本浩美氏の任期が令和2年6月30日付をもって満了となりますので、再び山本氏を推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるため、ご提案を申し上げます。

山本氏は、平成17年7月から人権擁護委員を5期15年間務められ、人権相談や人権擁護活動

に積極的に取り組み、人権に関する諸問題解決に努めてこられました。太宰府市の人権擁護委員として、山本氏は十分任務を果たせる方であると確信をいたしております。

略歴書を添付いたしておりますので、ご参照の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

次に、諮問第2号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」ご説明申し上げます。

現委員であります井上美知子氏の任期が令和2年6月30日付をもって満了となりますので、再び井上氏を推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるため、ご提案申し上げるものであります。

井上氏は、平成29年7月から人権擁護委員を1期3年間務められ、人権相談や人権擁護活動に積極的に取り組み、人権に関する諸問題解決に努めてこられました。太宰府市の人権擁護委員として、井上氏は十分任務を果たせる方であると確信をいたしております。

略歴書を添付いたしておりますので、ご参照の上、ご承認を賜りますようお願いを申し上げます。

次に、議案第1号「太宰府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて」ご説明申し上げます。

現委員であります植中美紀氏が令和2年3月25日付をもちまして任期満了となりますので、再び植中氏を選任いたしたく、地方税法第423条第3項の規定によりご提案申し上げるものであります。

植中氏は、前委員の退任を受け、平成26年3月26日から6年間委員を務められております。平成20年7月より司法書士事務所を開業し、不動産登記などの業務に携わり、豊富な知識と実績を持たれた方であり、固定資産評価審査委員として適任者であると確信いたしております。

略歴書を添付いたしておりますので、ご参照の上、よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

次に、議案第2号「筑紫公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて」ご説明申し上げます。

筑紫公平委員会は、筑紫地区5市及び8つの一部事務組合で共同設置しており、委員は関係市の持ち回りにより候補者を推薦することといたしております。

このたび、春日市推薦の江田博氏が本年3月31日付で任期満了となることに伴い、次の推薦団体であります大野城市から山崎平太郎氏の推薦がございましたので、筑紫公平委員会設置規約第3条第1項の規定により議会の同意を求めるものであります。

山崎氏は、昭和27年7月生まれの67歳で、現在、大野城市に居住されております。昭和50年から平成25年の長きにわたり大野城市に奉職され、この間、大野城市市長公室、財政課、総務課などの関係部署を経験され、市民部北コミュニティセンター所長や企画政策部秘書課長を歴任されるなど、社会的な経験も豊富であり、公平委員として適任であると考えております。

経歴書をご参照の上、よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

次に、議案第3号「太宰府市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」ご説明申し上げます。

現職の日下部寛行氏が令和2年3月31日付をもって任期満了となりますので、再任の同意を求めるものであります。

日下部氏は、平成30年6月22日付で、前任者である樋田京子現教育長の残任期間でありました約2年間、教育委員として多岐にわたる高い見識、若さと熱意あふれるご指導、ご理解のもと、教育行政の円滑な運営と健全な発展にご尽力をいただいております。今後ともその知識と経験、情熱を十二分に生かしていただき、本市教育行政のさらなる発展のためにご貢献いただきたいと考えております。

略歴書を添付しておりますので、ご参照の上、よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

○議長（陶山良尚議員） 説明は終わりました。

質疑は2月28日の本会議で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第10 議案第4号 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度太宰府市一般会計補正予算（専決第2号））

○議長（陶山良尚議員） 日程第10、議案第4号「専決処分の承認を求めることについて（令和元年度太宰府市一般会計補正予算（専決第2号））」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 次に、議案第4号「専決処分の承認を求めることについて（令和元年度太宰府市一般会計補正予算（専決第2号））」についてご説明申し上げます。

今回の補正予算は、昨年末までに当初の見込みを大幅に上回るふるさと太宰府応援寄附金をいただいたことから、ふるさと納税関連に係る予算を令和2年1月21日付で専決処分をさせていただいたものであります。

歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ4,770万円を追加し、予算総額を262億976万円にお願いするものであります。

よろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（陶山良尚議員） 説明は終わりました。

お諮りします。

本案は委員会付託を省略したいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、委員会付託を省略します。

直ちに質疑、討論、採決を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(陶山良尚議員) これで質疑を終わります。

討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(陶山良尚議員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第4号を承認することに賛成の方は起立願います。

(全員起立)

○議長(陶山良尚議員) 全員起立です。

よって、議案第4号は承認されました。

〈承認 賛成17名、反対0名 午前10時52分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第11から日程第21まで一括上程

○議長(陶山良尚議員) お諮りします。

日程第11、議案第5号「財産の取得(史跡地)について」から日程第21、議案第15号「太宰府市公園条例の一部を改正する条例について」までを一括議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(陶山良尚議員) 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

[市長 楠田大蔵 登壇]

○市長(楠田大蔵) 議案第5号から議案第15号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、議案第5号「財産の取得(史跡地)について」ご説明申し上げます。

本案は、史跡指定地の土地取得に関する案件でございます。

この史跡地取得につきましては、皆様のご理解とご協力により着実に進んでいるところであり、深く感謝申し上げます次第であります。

今回買い上げいたします土地につきましては、18筆、面積1万8,445.99㎡、買い上げ金額2億6,810万2,270円であります。

詳細につきましては、財産の取得(史跡地)一覧表をご参照の上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

次に、議案第6号「太宰府市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について」

ご説明申し上げます。

今回の改正は、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正により、条例中に引用している同法の法律名及び条番号が変更されたことに伴い、条例の一部を改正する必要が生じたため、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第7号「太宰府市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

太宰府市には、指定・未指定にかかわらず、誇り得る数多くの文化財と広大な史跡地が存在します。地域社会の変化による文化財の消滅が散逸が課題となっている中、また本市の文化財が新元号令和発祥のゆえんとなり、史跡指定100年の節目を迎える中、それらの文化財をどのように活かし、次世代に継承していくのか、実効性のある適切な施策・体制づくりが求められていることから、文化財保存活用地域計画を策定し、官民一体となって地域社会総がかりによる文化財の保存・活用について調査審議する場として、新たに太宰府市文化財保存活用地域計画策定協議会を設置することに伴い、条例の一部を改正する必要が生じたため、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第8号「臨時的に任用された職員の分限に関する条例の一部を改正する条例について」から議案第10号「太宰府市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について」までは関連がございますので、一括してご説明申し上げます。

今回の条例の改正は、非常勤職員などの適正な任用の確保などを目的として、平成29年に公布されました地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が令和2年4月1日に施行され、会計年度任用職員制度が導入されることとなったことに伴い、関係する条例を整備する必要が生じたため、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第11号「太宰府市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

今回の条例の改正は、令和元年8月7日の人事院勧告に伴い、住居手当の上限が引き上げられたことに伴うものであります。当初、令和元年12月議会において職員の給与など関係条例とあわせて改正を行うよう予定しておりましたが、職員団体との調整に時間を要したため、今回提案しているものであります。

本市におきましては、これまでも国家公務員の例に準じた内容で改正を行ってきておりますので、今回も勧告に従いまして条例の一部を改正する必要が生じたため、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第12号「太宰府市立図書館条例の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

太宰府市民図書館の臨時休館または開館の取り扱いについて、条例の一部を改正する必要性が生じたので、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第13号「太宰府市印鑑条例の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が令和元年12月14日に施行され、成年被後見人などを資格、職種、業務などから一律に排除する規定、欠格条項を設けている各制度について、心身の故障などの状況を個別的、実質的に審査し、各制度に必要な能力の有無を判断する規定へと適正化するとともに、所要の手續規定を整備されたことに伴うものです。

この法律の施行により国の印鑑登録証明事務処理要領の一部が改正されたことを受け、本市印鑑条例の一部を改正する必要性が生じたため、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第14号「太宰府市税条例等の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

滞納整理事務の効率化と納税者の利便性向上を図るため、督促手数料の徴収を廃止したく、関係する4つの条例、太宰府市税条例、太宰府市の督促手数料及び延滞金徴収条例、太宰府市介護保険条例、太宰府市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する必要性が生じたため、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第15号「太宰府市公園条例の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

公園、緑地などは、良好な景観や環境、にぎわいの創出など、潤いのある豊かな都市をつくる上で欠かせないものであります。また、災害時の避難地としての役割も担っています。

このようなさまざまな役割を担っている都市公園においては、地域住民が公園の管理に参画することにより、その活力や知恵をできる限り活かしながら保全・活用することも必要です。

現在、市内の公園において自治会などによる公園施設が設置されている状況も鑑み、公園管理者がみずから設け、または管理することが不適當または困難な場合、あるいは公園施設として設置することが機能の増進に資すると認められる場合などにおいて、都市公園法第5条第1項の規定に基づく公園施設の設置及び管理の許可権限を明らかにするために、太宰府市公園条例を改正する必要性が生じたことから、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものであります。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（陶山良尚議員） 説明は終わりました。

質疑は2月28日の本会議で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第22と日程第23を一括上程

○議長（陶山良尚議員） お諮りします。

日程第22、議案第16号「令和元年度太宰府市一般会計補正予算（第7号）について」及び日程第23、議案第17号「令和元年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について」を一括議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 議案第16号及び議案第17号を一括してご説明申し上げます。

最初に、議案第16号「令和元年度太宰府市一般会計補正予算（第7号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、歳入歳出をそれぞれ4億3,813万3,000円増額し、予算総額を266億4,789万3,000円にお願いするものであります。

主な内容といたしましては、専決補正予算でも計上させていただきましたふるさと太宰府応援寄附金が当初見込みより大幅に増えることから、関連業務委託料などの費用を計上させていただくとともに、坂本八幡宮氏子会様よりいただきました指定寄附金を計上させていただいております。

また、地域交通網形成計画策定業務におきまして、県の補助事業である自転車ネットワーク計画策定支援事業の採択を受けましたことから、財源の組換を行うとともに、ため池耐震診断業務におきましては、国の補助事業の追加採択を受けたことから、工事設計監理等に係る費用を計上させていただいております。

そのほかには、国の国土強靱化対策事業での補助の採択を受け、交付税措置のある有利な起債が借り入れできることとなったことから、水城西小学校の教室棟大規模改造事業や太宰府中学校屋内運動場大規模改造事業に関連する費用などを計上させていただいております。

あわせて、繰越明許費を10件、地方債の変更2件を補正させていただいております。

次に、議案第17号「令和元年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、保険事業勘定の歳入に1,529万1,000円の増減を行うもので、予算総額に変更はございません。

内容といたしましては、介護給付費及び地域支援事業などに充当する国庫、県費支出金及び支払基金交付金などの不足に伴う基金繰入金の増と、同額を保険料から減額するものです。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（陶山良尚議員） 説明は終わりました。

質疑は2月28日の本会議で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第24から日程第30まで一括上程

○議長（陶山良尚議員） お諮りします。

日程第24、議案第18号「令和2年度太宰府市一般会計予算について」から日程第30、議案第24号「令和2年度太宰府市下水道事業会計予算について」までを一括議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 議案第18号から議案第24号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、議案第18号「令和2年度太宰府市一般会計予算について」ご説明申し上げます。

1月に発表された内閣府の月例経済報告によりますと、我が国の景気の状態は、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されるとされており、海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向に留意しながらも、経済再生と財政健全化に向けた取り組みを行い、誰もが活躍でき、安心して暮らせる社会づくりのため、全世代型社会保障を実現するとしております。

また、先般総務省より発表されました令和2年度の地方財政対策におきましては、地方交付税が前年度比で2.5%増額される中、近年頻発する自然災害に備えた防災・減災対策の推進や、第2期のまち・ひと・しごと創生総合戦略事業の充実、さらには持続可能な行政サービスを確保していくために次世代型行政サービスの推進など、地方公共団体が安定的に財政運営できるよう、地方交付税等の一般財源総額について、前年度を上回る63兆4,000億円を確保したとしています。

このような中、本市の令和2年度予算編成に当たりましては、令和の慶びや効果を市民の皆様へ還元し、令和発祥の都としてさらに羽ばたくための予算、いわば「令和還元予算」と位置づけ編成を進めてまいりました。

歳入予算におきましては、歳入の根底である給与所得の伸びや家屋の新築などを考慮して市税の増収を見込むとともに、「令和発祥の都」太宰府を生かした事業を推進していくことで、観光産業や地場産業の育成、企業・創業者の支援を行い、ふるさと納税のさらなる充実を図り、一般財源の確保に努めました。

歳出予算におきましては、さまざまな財政需要の均衡を図りつつ予算配分を行ったところですが、昨年に増して最少の経費で最大の効果が出せるよう心がけるとともに、子ども・子育て支援の充実、高齢者支援、観光産業や地場産業の育成、文化財の有効活用、市民の安

心・安全対策などに重点的に配分を行いました。

また、各事業を遂行するに当たりましては、国、県などのあらゆる補助メニューを積極的に活用するなど、財源を最大限確保するよう努めるとともに、持続可能な財政基盤の構築を目指した事業を展開していきたいと考えております。

この結果、令和2年度の一般会計予算総額は250億3,362万円となり、前年度当初予算額に比べ、6億739万円の増、率にいたしますと2.5%の増となっております。

詳細につきましては、別に配付しております当初予算説明資料をご参照いただきますようお願い申し上げます。

次に、議案第19号「令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

歳入歳出予算総額は72億413万7,000円で、対前年度比0.1%の減となっております。

平成30年度から県が主体となって広域的に実施している国保運営であります。1人当たりの医療費が年々増加しており、国保財政は依然として厳しい状況となっております。

今後も予算の執行状況や国、県の動向を十分に注視し、医療費の適正化等を図りながら、健全で安定した国民健康保険事業の運営に、より一層の努力を図ってまいります。

次に、議案第20号「令和2年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」ご説明申し上げます。

歳入歳出予算総額は12億7,005万円で、対前年度比0.3%の増となっております。

令和2年度は、福岡県後期高齢者広域連合による当初の試算をもとに予算計上しております。

次に、議案第21号「令和2年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

介護保険事業は、高齢化の進行に伴い、要介護認定者及び介護サービス利用の増加により、年々給付費が増加しております。

令和2年度の歳入歳出予算につきましては、総額53億6,157万8,000円で、対前年度比4.2%の増となっております。

歳出予算としまして、会計年度任用職員制度開始に伴う人件費及び地域包括支援センターのサブセンター開設による職員給与費を予算計上しております。

今後も介護保険制度の利用者の自立支援はもとより、給付費の適正化に努め、介護保険事業の円滑な運営に努めてまいります。

次に、議案第22号「令和2年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

令和2年度歳入歳出予算であります。歳入歳出ともに総額35万4,000円で、対前年度比4万1,000円、10.4%の減となっております。

なお、貸付金の償還向上につきましては、今後も個別の現状把握に努め、精力的に家庭訪問

を行うなど償還の促進と、県との連絡調整や契約弁護士との法律相談を行いながら滞納者対策を図ってまいります。

次に、議案第23号「令和2年度太宰府市水道事業会計予算について」ご説明申し上げます。

初めに、本年度の業務の予定量であります。給水戸数2万6,103戸、年間総給水量559万6,180m³を予定しております。

収益的収入及び支出についてであります。収入総額を14億2,045万3,000円とし、支出総額を12億8,493万4,000円といたしております。給水収益につきましては、12億1,660万8,000円を予定しております。また、加入負担金につきましては、3,608万円を見込んでおります。

次に、資本的収入及び支出であります。収入総額を3,234万2,000円、支出総額を5億4,471万4,000円といたしております。収入につきましては、松川浄水場及び水道管路の耐震化に伴う一般会計からの出資金を1,540万円、松川浄水場耐震化及び基幹管路新設に伴う国庫補助金として1,380万円を計上し、支出につきましては、主な建設改良事業としまして、基幹管路の新設工事、大佐野地区及び梅香苑地区の配水管布設替工事などを予定しております。

なお、不足額につきましては、消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填いたします。

次に、議案第24号「令和2年度太宰府市下水道事業会計予算について」ご説明申し上げます。

初めに、本年度の業務の予定量であります。排水戸数3万382戸、年間総排水量696万2,375m³を予定しております。

収益的収入及び支出であります。収入総額を18億5,918万1,000円とし、支出総額を14億3,367万2,000円といたしております。下水道使用料につきましては、11億8,148万5,000円を見込んでおります。

次に、資本的収入及び支出であります。収入総額を3億2,444万7,000円、支出総額を9億6,977万7,000円とし、主な建設改良事業といたしましては、都府楼団地の長寿命化管きょ更生工事などで、単独と補助事業を合わせて総額2億7,566万1,000円といたしております。

なお、不足額につきましては、消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填いたします。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（陶山良尚議員） 説明は終わりました。

お諮りします。

日程第24から日程第30までの令和2年度各会計予算につきましては、議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、これに付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定いたしました。

お諮りします。

予算特別委員会の正副委員長を、慣例によって決定したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(陶山良尚議員) 異議なしと認めます。

よって、予算特別委員会の委員長は総務文教常任委員会委員長の門田直樹議員、副委員長は各常任委員会副委員長の輪番制で、今回は建設経済常任委員会副委員長の上疆議員とすることに決定しました。

ここで、予算特別委員会日程等について委員長の説明を求めます。

予算特別委員会委員長 門田直樹議員。

[15番 門田直樹議員 登壇]

○15番(門田直樹議員) 今回の予算特別委員会の委員長に私門田直樹、副委員長に上疆議員が選任されました。特別委員会が効率よく運営されるよう努めてまいりますので、議員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

日程について説明いたします。

予算特別委員会の初日は、本日の本会議散会後に開催し、一般会計、各特別会計及び各企業会計について、各予算の所管部長から概要説明を受けたいと思います。2日目の3月13日金曜日は午後2時から、3日目の3月16日月曜日は午前10時から再開し、予算書及び各資料をもとに審査を行います。なお、予備日として4日目の3月17日火曜日午後2時からを予定しておりますので、各委員及び説明者の出席をよろしくお願いいたします。

また、各委員からの資料要求は、あらかじめ配付しております資料要求書により、明日27日木曜午後1時まで事務局へ提出してください。

資料の要求に当たっては、関係資料等の内容を十分に精査され、必要最小限の要求とされますようお願いいたします。

次に、予算審査日は、本日の議会関係会議終了後及び2月27日、3月12日の午前10時からとなっています。

以上で説明を終わります。

○議長(陶山良尚議員) 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長(陶山良尚議員) 以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。

次の本会議は、2月28日午前10時から再開します。

本日はこれをもちまして散会します。

散会 午前11時16分

~~~~~ ○ ~~~~~